



## 音楽を、世界中にシェアする

26 April, 2017

数々のヒット曲を生み出してきた J-POP ミュージック・グループが、日本から世界に作品を発信するのにデジタル・ピジョンを使う理由

デジタル・ピジョンをビジネスに活用している顧客には、実にさまざまな業種の方がいます。今回わたしたちは、デジタル・ピジョンを使って世界中に作品を送信している、Jポップ・ミュージック・グループ (J-POP MUSIC GROUP, 以下 J-POP 社) の創設者にして CEO のジェフ・ミヤハラ氏にお話を伺いました。

### 世界を近くするファイル送信サービス

J-POP 社は、日本のポップミュージックを中心に、音楽プロダクション・ビジネスを国際的に展開しています。日本、韓国、米国、台湾、その他のアジア諸国など世界中のクライアントに向けて、毎年 150 曲以上の楽曲を制作しています。

このように正真正銘のグローバルな会社といえるわけですが、ジェフ・ミヤハラ氏によれば、自身のマルチ・カルチュラルかつマルチ・リンガルな生い立ち（韓国人と日本人のハーフで LA 育ち）が、曲を書いたり制作したりする上でのアプローチの基本になっているそうです。ミヤハラ氏がともに働くチームには、グラミー賞を手にしたプロデューサー、ソングライター、作曲家、シンガー、作詞家、オーディオ・エンジニア、マーケターなどの人々がいて、東京をベースに、躍進的な進化を遂げる世界中のアーティストやソングライターたちの楽曲制作を手がけるとともにマーケティング戦略を展開しています。これまでに J-POP 社は、さまざまなチャートで一位を獲得したヒット曲の制作を多数手がけており、3000 万枚以上（デジタル配信と CD 販売を含む）の売り上げを達成しています。

「本当に信頼できるインターフェースで、クライアントにとっても使いやすい。僕がこれで作品を送ると、クライアントは次にどうすればいいかすぐにわかる。」  
(by ジェフ・ミヤハラ、J-POP ミュージック・グループ創設者・CEO)

## デジタル・ピジョンへの移行

J-POP 社では、過去 10 年にわたって、とある有名なファイル・シェアリング・サービスを利用していましたが、次第に問題が発生するようになり、他のサービスを探し始めたといいます。それまでのファイル・シェアリング・ツールでは、ファイルの転送にますます時間がかかるようになり、メンテナンスのためにサイトが休止していることもしょっちゅうでした。

「とうとう、クライアントからファイルがダウンロードできない、と電話がかかってくるようになってしまった」、とジェフは言います。「この仕事では、必要なファイルは数分以内にクライアントに届くことが求められます。これはグローバル産業で、24 時間体制、年中無休の仕事ですから、どこであれ、いつであれ、何かが誰かに届かないなどという事態に言い訳は通用しません。」

それまで利用していたファイル・シェアリング・サービスがすでに低迷しているのを感じた彼らは、新しいサービスを探し始めました。「わたしたちのビジネスには大容量データが欠かせません。ですから、完璧なファイル転送ソフトウェアが必要です。」

そこで彼らが見つけたのが、デジタル・ピジョンでした。

## ワークフローの改善

デジタル・ピジョンを利用し始めると、このサービスが J-POP 社の業務のさまざまなプロセスにぴったりマッチすることがわかったといいます。ジェフによれば、これは非常に時間的制約のある仕事で、ごく単純に言って、ファイルの送受信の失敗で無駄にできる時間などありません。作品をクライアントに送ったり、クライアントからフィードバックや追加メディアを受け取ったり、チームは作品の構想から完成まで、すべてのプロセスでこのソフトウェアを利用しています。「32 ビット、96kHz のオーディオ・ファイルを Pro Tools や Logic Pro X などのプログラムから直接送信しています。障害や問題が生じることもありません。だから純粋に楽です。しかも、わたしたちはマック、ウィンドウズ、モバイル・デバイスなど、いろいろな種類のデバイス間で使っているのですが、スムーズです。」

## チーム・マネジメント

J-POP 社では、チームを主体にプロジェクトを進めていくアプローチを取っています。そのため、レビューやフィードバックを得るために社内のたくさんの人々にファイルを送信する必要があります。また、デジタル・ピジョンのアクティビティ追跡ツールは、プロジェクトのバージョン管理やチームメンバーの変更などを把握するのに完璧なツールです。ジェフは次のようにコメントしています。「スタッフがプロジェクトのどの段階に取り組んでいるのか、クライアントがわたしたちの作品をいつ聞いたかなど、たとえ旅行中でも簡単に確認できます。」

## クライアント・マネージメント

また、以前のサービスに比べて、クライアントが J-POP 社の仕事を見るのも格段に簡単になった、とジェフは教えてくれました。「(デジタル・ピジョンは) 本当に信頼できるインターフェースで、クライアントにとっても使いやすい。僕がこれで作品を送ると、クライアントは次にどうすればいいかすぐにわかる。」

わたしたちはインタビューのなかで、デジタル・ピジョンで何か他にもこういうことができたらいいな、こういう機能が加わったらいいな、と思っていることがないかジェフに尋ねてみました。

彼の答えは、「クライアントがわたしたちのファイルに対して、タイムリーで正確な詳しいフィードバックを提供できるようなフィードバック・ツールがあったらいいなと思います」というものでした。わたしたちが、すでにフィードバック・ツールはありますよ、と見せると、ジェフは自分がそれまで気づいていなかったのが信じられない、という様子で、「これこそ僕のビジネスの人々にとって文字通り完璧なツールだ」と驚きの様子でした。

そして最後に彼は、「それから、君たちのロゴ、とても良いね！」と言ってインタビューを締めくくってくれました。

ありがとうジェフ、わたしたちもあなたのロゴ、素晴らしいと思います！

J-POP ミュージック・グループについてはこちらのウェブサイト参照 [www.jpop.co.jp](http://www.jpop.co.jp)

## **あなたのチームではデジタル・ピジョンをどのように使っていますか？**

下のコメント欄にご記入ください。

社内ファイル共有にわたしたちのソフトウェアを利用することについてもっと知りたい場合は、チーム・マネジメントに関するページを参照してください。

## **時間のかかるファイル・シェアリングにうんざりしていませんか？今すぐデジタル・ピジョンをトライ！**

無料トライアルを試す

クレジットカード不要

質問がありますか？ヘルプが必要ですか？

お気軽にお問い合わせください

ツイッターで質問する

Eメールで質問する

サポート・コミュニティ